倫 理 審 査 申 請 書

令和　6 年　11月　8日

学校法人文京学園

倫理委員会委員長　殿

申請者　　　長野 祐一郎　　㊞

所　属　　人間学部心理学科

職　名　　　　准教授

＊受付番号

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 所属長  の　印 |  |
| 1. 審査対象　学生による卒業研究 | | |
| ２．課 題 名　アクティビティトラッカーを用いた自己最適化が、AIアドバイザーの存在により促進させるか | | |
| ３． 代 表 者 　文京学院大学人間学部准教授　　長野　祐一郎 | | |
| ４．分担者または指導教員  　　　　長野　祐一郎 | | |
| ５．教育・研究・指導等の概要 | | |
| ６．教育・研究・指導等の期間　承認日　～　令和8年　　3月 31日 | | |
| ７．実施対象および実施場所  実施対象  文京学院大学に所属する15～20名の大学生を対象にデータの測定を行う．  実施場所  実施場所（アクティビティトラッカーの受け渡し場所）は，文京学院大学ふじみ野キャンパスの東館実験室E-151・152教室​にて実施する．健康面の介入は，主として参加者の自宅を想定する。 | | |

|  |
| --- |
| ８．教育・研究・指導等における倫理的配慮について＜(1) ～(3) は必ず記入のこと＞  （１）対象とする個人の人権擁護  　参加者には，研究で扱う手続きや装置類に関する身体面・精神面における安全性を説明し，かつ参加者自身の意志でいつでも参加を中断できる事を説明し，予めインフォームドコンセントを得てから研究を実施する．氏名，年齢，アンケートの結果等の参加者の情報はすべて連結不可能な匿名化処理を施し，参加者No.でのみ管理を行う．得られたデータの保管については実験者のコンピュータストレージ上にパスワードをかけて，他人がアクセスできないように保管する．  （２）対象となるものに理解を求め，同意を得る方法  　研究実施者から事前にメールにて参加者に研究概要を説明し，加えて研究当日に概要を口頭にて説明した上で，書面にて参加の同意を得る．  （３）この教育・研究・指導等によって生ずる個人の不利益および名誉毀損ならびに社会的貢献の予測  アクティビティトラッカーの装着による手首の圧迫により，皮膚に発疹やかゆみなどのリスクが存在する可能性があります。その場合は，状況に応じて外していただくことで対応をお願いします。トラッカーによる生活管理は，身体健康だけでなく，ストレス軽減や精神的な健康維持にも寄与します。自身の生活をデジタル技術を用いて可視化し，健康的なライフスタイルを築く方法を知るきっかけとなる可能性があります。これらが，研究参加によって得られる可能性のある主な利益となります。  また，個人情報漏洩にともなう不利益は生じうるが，その対策は上記(1)に示した。生体反応の自律制御を促進する訓練は，参加者にとって新たなストレスコーピングスキルを提供し，長期的な精神的健康への貢献が期待される。社会的貢献としては，研究結果がストレスマネジメントの新たな方法としての適用可能性を拓くことで，広範囲の人々の福祉向上に寄与する。また，ストレス関連の疾患の予防および改善に向けた介入プログラム開発において重要な基礎データを提供する。教育面では，自律訓練法の普及により，学生や一般市民のセルフケア能力を高め，健康教育の充実に貢献すると予測される。  （４）その他  特になし。 |